



闘 春

仲間を信じ共に

2011・卯年

<写真は、昨年12月11日東日本本部マラソン大会(皇居外周コース・桜田門時計台前付近) / 駅伝・盛岡地本チーム5区八嶋昌二選手(青森運輸分会)から最終ランナーの佐藤隆文選手(一関工務分会)へリレー、8位でゴールした>



発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行者 齋藤庄司
編集者 中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス
numori@poem.ocn.ne.jp

2011.1.10
第1429号

新年
特集号

年頭あいさつ

人道的立場での雇用問題の解決 続自治体選挙に全力をあげよう

地方本部執行委員長

齋藤庄司



あけましておめでとうございます。
新年を迎え、組合員・家族の皆様に地方本部執行委員会を代表し、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、国鉄労働組合にとりまして新たな出発を切る年になりました。それは、闘争団・家族はもとより、組合員や全国各地で23年余に渡り支援して下さった誰もが、待ち望んでいた「1047名JR採用差別事件」の政治解決が実現した事です。

昨年4月「国鉄改革に伴う1047名のJR不採用問題について」政府から解決案が示され、国労は直ちに政府の解決案を受け入れる事を表明し、6月には最高裁判所第3小法廷で裁判官立会いのもと、鉄道・運輸機構との間で裁判上の一括和解が成立しました。残念ながら解決案の中の一つである雇用問題についてまだ

残っていますが、引き続き国労本部を中心に3月末までに全面解決するため、全力で努力しているところです。

この四半世紀に及ぼんとする闘争で、最終解決を見ることなく59名の国労闘争団員(1047名では67名)が他界しています。(12月25日現在)当然、これ以上の引き延ばしは許されず、JR各社において2009年3月25日に鉄建公団訴訟判決で「不当労働行為」の成立を明確に認定された事や、国鉄改革過程で採用判定に関わった国鉄管理者などが、JRに採用されている現実を見ても、政府から人道的立場での雇用について要請があれば受ける事が当然であると思えます。

いずれ、今後3月末を見据えて様々な動きが想定されますが、盛岡地方本部も国労本部と連携して全面解決に向けて組織拡大を始めとした運動の強化を図って参りたいと考えておりますので、組合員のさらなる奮闘とご協力をお願いします。

それから昨年12月4日、東北新幹線が新青森延伸開業し、地方本部としても組織の改編を含め、大きな出来事となります。

ました。

東京・新青森間の所要時間は、最速で3時間20分となり、青森県の特に津軽地方にとつて夢と希望が膨らむ、新たな高速鉄道時代が訪れました。

しかし、華やかな新青森開業の陰で、JRから経営分離された在来線の青い森鉄道は、県の試算で毎年16億円の赤字を抱える事になっています。いわて銀河鉄道においても割高運賃や少子高齢化などの原因で、毎年経営環境の悪化が続いています。

年末になり国から、鉄道・運輸機構の利益剰余金のうち1千億円が並行在来線の調整金に充てられる事が決定されました。

厳しい経営に喘ぐ第3セクター鉄道には大きな光となりますが、我々労働組合として公共交通を守る立場で、今後政府に恒久的な支援を訴えて参りたいと思えます。

最後に、4月に行われる統一自治体選挙についてです。県議選については、岩手県議選の木村・久保両県議と青森県議選の奈良岡県議が2期目の挑戦になりますし、新たに刈屋秀俊氏を岩手県議選に推薦し、戦う事になりました。

また、山崎矢巾町議について2期目の挑戦となり、各候補とも非常に厳しい選挙戦になる事は、間違いありません。地本内各地区全ての推薦候補の必勝に向け、奮闘し合う事を訴え年頭のご挨拶いたします。

<本年もよろしくお願ひします>

地方本部役員

執行委員長 齋藤庄司 (盛岡運輸区分会)

執行副委員長 阿部一久 (八戸運輸分会)

執行副委員長 小林良宏 (盛岡施設分会)

書記長 佐々木力 (盛岡施設分会)

執行委員 中堤聡司 (盛岡施設分会)

執行委員 菊池要悦 (盛岡運輸分会)

特別執行委員 佐々木研司 (盛岡駅連合分会)

特別執行委員 佐々木政志 (青森運輸分会)

特別執行委員 小野寺京子 (一関運輸分会)

特別執行委員 高橋伸二 (北上工務分会)

特別執行委員 浦山正年 (元・北上駅連合分会)

特別執行委員 奈良岡克也 (元・青森運輸区分会)

会計監査員 高橋亮一 (北上駅連合分会)

会計監査員 田中光 (盛岡駅連合分会)

会計監査員 山川治 (青森運輸分会)

地方本部書記職員

遠藤正

西館忍

三浦佳三

大宮千恵子



皆で頑張ろう

選挙の年

県議選挙・青森選挙区

政治決戦の勝利に全力

奈良岡 克也 (59歳)



新年明けましておめでとうございます。

国労盛岡地本議員団から、組合員とご家族の皆様は年頭のご挨拶を申し上げます。昨年、国労最大の闘争課題「JR不採用事件」が政治解決し、組織を挙げてこの成果を喜び合うことができました。今年は是非とも雇用を確保し、全面解決を実現しな

ればなりません。また、東北新幹線が全線開業し、並行在来線「青い森鉄道」も青森まで延伸開業となりました。

この二つの出来事で、一部組合員に異動がございましたが、この困難を乗り越え、国労組織の拡大強化に繋げようではありませんか。私達議員団は今年も①地域格差の解消と県民の生活水準の向上②東北新幹線と並行在来線を巡る諸問題解決③憲法擁護と反戦・平和闘争の強化④脱原発・反核燃闘争の強化

町議選挙・矢巾町

4年間の経験活かしたい

山崎 道夫 (62歳)



国労盛岡地方本部に結集する組合員とご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。2011年の輝かしい新年を迎えられ、それぞれ決意を新たにされていることと

思います。昨年、国労にとって、国労運動の支援者として、言葉では言い表せないくらいとても喜ばしい年でした。

今年はまだ解決されていない雇用問題を前進させなければならぬ大変重要な年になると思います。また、組織拡大と差別のない組織作りをさらに強化し、しっかりと気を引き締めて当選を勝ち取るための活動を進めていきたいと思っております。

4月の選挙では、さらなる熱いご支援をお願いし、あわせてこの1年が皆様にとって良き年になりますようにご祈念申し上げます、新年のあいさつと致します。

今年統一地方自治体選挙の年であり、4月の県議

選挙の年であり、4月の県議選挙に組織内候補として青森選挙区(定数10)に奈良岡克也氏(59歳)、花巻選挙区(定数4)に木村幸弘氏(51歳)、北上選挙区(定数4)に久保孝喜氏(57歳)の3氏が社会民主党公認として、矢巾町議会議員選挙(定数18)に山崎道夫氏(62歳)が社会民主党推薦で現職の4氏が立候補を予定している。な

県議選挙・北上選挙区

新自由主義に対抗軸を

久保 孝喜 (57歳)



国労の仲間の皆さんに新年のご挨拶を申し上げます。

今春は、民主党政権にも社民党にとつても、重要なエポックとなる統一地方選挙が行われます。北上における県議の議席は、昭和30年代からの県民の思いを繋いできた議席です。故阿部清治郎氏・故澤藤礼次郎氏そして小原宜良さんへと続き50年以上の間勤

労者の議席として、私へと繋いで頂いたものです。何となくも死守しなくてはなりません。一層のご支援をお願い致します。

今、政権交代後の民主党への失望感が広がる中、政治が大きく右旋回する危険があり、新自由主義がハバをきかせる政治風土への明確な「対抗軸」が求められています。シ

ンブルにしかも原則的に運動を積み上げる事、それ以外に私達の道はありません。国鉄を組んでまいります。共にがんばりましょう。

「5ヶ年」を設定し、皆様の福祉活動の柱として、社会に貢献するJR職域共済を目指し取り組みを進めています。世界ではリーマンショック以降、「貧しくとも肩を寄せ合い生きる家族の幸せ」「仲間がいる」など、「競争から共生へ」というモチーフが主題となる心象風景が広がりはじめています。東北支所も気持ちを新たに「助け合いの輪」を広め、未来を確かなものにして参りたいと思っております。

県議選挙・花巻選挙区

生活者に応える政治に

木村 幸弘 (51歳)



新年あけましておめでとうございます。

ご家族の皆様には、昨年の歴史的国鉄闘争解決という成果を経て、輝かしい新年を迎える事とお慶び申し上げます。

皆様のご支援、ご指導の下、皆様のご活動の場を与えていただき、早4年が経過しようとしています。

この間は、いのちと暮ら

しを大切にすることを大いに実現に向けて、医療・福祉施策の充実と医師不足による地域医療のあり方に対する提言、深刻化する雇用施策の持続的支援対策や生活支援施策の強化、教育では、高校無償化や再編問題等の課題の追求と施策の豊富化を求めると共に、達増

て説明責任が果たされるような県政運営を基本に対応してまいりました。

本年は、引き続きこうしと

地方自治の確立が急務とな

地方自治の確立が急務とな

地方自治の確立が急務とな

地方自治の確立が急務とな

地方自治の確立が急務とな

県議選挙・盛岡選挙区

地方自治の確立が急務

川屋 秀俊 (57歳)



新春を迎え国労盛岡地本の皆様方のご多幸を心からご祈

念申し上げます。同時に、4月の県議選挙の立候補にあたり、党として邁進してきた「社

力強いご推薦を賜り心から感謝と御礼を申し上げます。

いま、地方政治に求められるのは、国策として進められた構造改革路線により、困窮した住民生活と地域を守る

「防波堤」の役割を果たす、

「防波堤」の役割を果たす、

初春を迎え、皆様方のご多幸を心からご祈念申し上げます。

同時に、4月の県議選挙の立候補にあたり、党として邁進してきた「社

力強いご推薦を賜り心から感謝と御礼を申し上げます。

いま、地方政治に求められるのは、国策として進められた構造改革路線により、困窮した住民生活と地域を守る

「防波堤」の役割を果たす、

「防波堤」の役割を果たす、

助け合いの輪を広め 未来を確かなものに

事業副本部長 佐藤 勝雄



新年明けましておめでとうございます。

政治解決の実現

「5ヶ年」を設定し、皆様の福祉活動の柱として、社会に貢献するJR職域共済を目指し取り組みを進めています。

世界ではリーマンショック以降、「貧しくとも肩を寄せ合い生きる家族の幸せ」「仲間がいる」など、「競争から共生へ」というモチーフが主題となる心象風景が広がりはじめています。

2011年 元旦

元旦

秋田事業部長 高橋 治嗣

伊賀 泰